

■ 張出し構造型エネルギー吸収落石防護柵工法

ビストフェンス工法

NETIS登録番号：HK-180009-A

ビストフェンス工法は、従来工法から培った技術に新素材で開発した装置をプラスした、適用範囲の広い多機能型落石防護工である。最大300kJまでの落石エネルギーを吸収できる。

■特徴

- ①新たな支柱構造、金網、衝撃緩和装置の組み合わせで落石エネルギーを効率よく吸収できる。
- ②落石対策便覧(H29年12月)に準拠

した性能検証実験を行っており、確かな性能を検証できている。

- ③アンカー基礎及び軽量部材のため、道路際だけでなく山腹斜面での施工も容易である。
- ④山側からの施工が可能なため、原則として単管足場などの仮設が不要である。
- ⑤コンクリート打設が不要のため、工期の短縮が図れる。



CCM協会

事務局

〒103-8306 東京都中央区日本橋3-6-2

TEL.03-6366-7795

FAX.03-3278-6870

URL. <http://www.ccm-kyokai.jp>

E-mail. info@ccm-kyokai.jp